

9月8日 北本町（南本町会館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

- 新庁舎整備が始まった場合、現庁舎へ町民の出入りはどうなるのか。安全性が心配である。
⇒ 詳細は決定していませんが、ご不便をかけないように特に安全性には配慮します。
- 現庁舎から国道1号に出る際、右折しづらい。大磯駅から国道1号と接するT字路を十字路にしてはどうか。
⇒ 新庁舎への車の出入りはついては、今日のご意見も踏まえて、よく検討させていただきます。
- 新庁舎の1階には、町民窓口などの事務室は配置しないのか。新庁舎の1階は津波被害を受けるということか。
⇒ 1階には、町民の皆様の交流スペースや会議室などを配置します。1階は津波を受ける想定で地下1階も作りません。このような構造として津波対策をすることで緊急防災・減債事業債や防災対策事業債の対象となり、地方交付税を受けられます。
- 保健センターは、新庁舎内に集約されるのか。
⇒ 現在の保健センターで実施している健診などは、1階にスペースを確保することを考えています。

【町内の課題など】

- さざんか通り沿いに新築住宅の建設が予定されている。土地の元所有者とは、建物を新築する際には前面（南側）の道路をセットバックする約束であった。しかし、所有者が変わったと聞いたので隅切りをお願いに伺ったところ、設計会社からセットバックしないとの話を聞いた。かつての約束が反故にされた。何とかならないか。
⇒ 町役場の担当者には現場を見てもらいました。町役場では狭あい道路の拡幅を進めていますので、土地所有者（施主）との話し合いを重ねています。

- 消防庁舎の移転の話があるが、跡地の利活用方法は決まっているのか。移転と整備はいつ頃から始まるのか。
 - ⇒ 消防庁舎を建て替えることは決定していますが、現在は移転先を探しているところです。移転先が決定し次第、速やかに移転・建替えを進めます。現在の消防署と国府分署をまとめるという意見もあります。一つに集約した方が、出動体制など、効率的な運用ができます。先般開催した説明会でも、国府分署の廃止に反対する意見はありませんでした。現在、消防署内にある武道館も併設する予定です。跡地は売却したいと考えています。
- 徳洲会湘南大磯病院は移転するのか。
 - ⇒ 同一の敷地内に建て替える予定で、3年後ぐらいに完成すると聞いています。
- 徳洲会湘南大磯病院の建替え費用は、病院が負担するのか。
 - ⇒ 全額、徳洲会湘南大磯病院が負担します。ただし、産婦人科を開設する際には、神奈川県からの補助金を活用することができますので、町役場でも産婦人科の再開をお願いしているところです。
- 徳洲会湘南大磯病院に産婦人科ができれば、若い世代の方が移住してくるのではないのか。
 - ⇒ 産婦人科の開設となると10人程度の医師が必要となります。そのため、徳洲会湘南大磯病院では通常分娩のみを扱い、それ以外は徳洲会の他の病院で扱っていただくことで、2名から3名程度の医師で対応することが可能となることを、徳洲会湘南大磯病院には提案しています。
- 町内には電化製品を購入できる店舗が少ない。大磯駅前にノジマ大磯スクウェアができたので、そこでカタログ販売や即売会などを行っていただけないか。
 - ⇒ 株式会社ノジマに相談してみます。
- 北本町には町内の会館がない。ノジマ大磯スクウェアの体育館や会議室の利用料金を、割引して利用できるように交渉しようと思っている。
 - ⇒ 町役場からも株式会社ノジマに相談してみます。

以上